

原子力防災資機材現況届出書

東大安環第 122-2 号  
令和 3 年 10 月 5 日

原子力規制委員会 殿

届出者

住所 東京都文京区本郷七丁目3番1号

氏名 国立大学法人東京大学  
学長 藤井 輝夫

原子力防災資機材の現況について、原子力災害対策特別措置法第 11 条第 3 項の規定に基づき届け出ます。

原子力事業所の名称及び場所	東京大学大学院工学系研究科原子力専攻 茨城県那珂郡東海村白方白根2番22号			
放射線障害防護用器具	汚染防護服	28	組	
	呼吸用ボンベ付一体型防護マスク	5	個	
	フィルター付防護マスク	28	個	
非常用通信機器	緊急時電話回線	1	回線	
	ファクシミリ	1	台	
	携帯電話等	10	台	
計測器等	排気筒モニタリング設備その他の固定式測定器	ガスモニタ	1 台	
		ダストモニタ	1 台	
	ガンマ線測定用サーベイメータ	4	台	
	中性子線測定用サーベイメータ	2	台	
	空間放射線積算線量計	10	個	
	表面汚染密度測定用サーベイメータ	2	台	
	可搬式ダスト測定関連機器	サンプラ	4	台
		測定器	1	台
	可搬式の放射性ヨウ素測定関連機器	サンプラ	2	台
		測定器	1	台
	個人用外部被ばく線量測定器	40	台	
その他	エリアモニタリング設備		台	
	モニタリングカー		台	
その他資機材	ヨウ素剤	400	錠	
	担架	1	台	
	除染用具	1	式	
	被ばく者の輸送のために使用可能な車両	1	台	
	屋外消火栓設備又は動力消防ポンプ設備	1	式	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

2 「排気筒モニタリング設備その他の固定式測定器」の後の空欄には、設備の種類を記載すること。